

企画提案指示書（航空地上支援業務普及啓発事業）

1 委託事業名

航空地上支援業務普及啓発事業

2 業務の目的

地域の空港を支える人材（空港人材）を将来にわたり安定的に確保するため、地域の若年層を対象として、早期に空港人材を志すよう、空港を支える業務を体験できる航空教室を開催するなど、職業観を形成するためのモデル事業を構築する。

3 業務の内容

地域の若年層に対し、空港を支える人材※についての様々な職種の役割や意義を認識させ職業としての認知度の向上を図るため、以下（１）から（５）の事業を通じて、効果的な内容の検討を行う。

※ 空港を支える人材：航空機の発着を支援し、空港における人、モノの円滑な移動や輸送を実現する役割を担う、空港を支える業務を行う者。例として、ランプハンドリング、旅客ハンドリング、空港保安検査、航空機燃料給油など（空港人材について紹介等することを前提に、パイロットやキャビンアテンダントなどについて紹介等することも可能）。

（１）航空教室等のイベント周知

航空教室等のイベントの開催について、SNSを活用して周知を行う。参加対象となる若年層の保護者に対しても訴求できる内容を検討する。

（【道直営】道は、上記周知内容を参考として、ポスター・チラシの作成や配布先への送付を道負担により行う。）

（２）航空教室等のイベント事業の実施

空港を支える業務を紹介、見学、体験できる航空教室等のイベントを以下の内容で開催する。

ア 開催場所・開催回数

道内空港において1回開催する。

※ なお、空港で開催するイベントに付随し、本件事業を開催することも可とする。

イ 参加対象

小学生から高校生

※ 開催内容に応じて、参加者の年齢や就学先を絞ることも可能。

ウ 参加人数

30名程度（上記イの参加対象の人数）

※ 参加対象者の保護者について参加・同行させることも可能

（３）効果測定

上記事業について効果測定を行う。

例：参加者や保護者に対して、実施前と実施後における、空港を支える人材に関する認知度や役割の理解に関するアンケート調査や就職前の高校生を対象とする場合、進路先のフォロー調査など、事業の実施内容とその結果に関して把握できるデータのこと。

(4) モデル事業の提示、報告会の開催

ア 本事業を通じて検討を行った空港人材を確保するための職業観形成に資する航空教室等の開催のあり方についてモデル事業を提示すること。

イ また、上記の結果について、自治体、航空会社、空港関係者等を対象とした事業報告会を開催すること（【道直営】道は、道負担により事業報告会開催に係る会議室の確保と設備の借上げを行う）。

※ 道では、令和6年度、道内空港での航空教室等の開催について補助を予定しているが、補助の採択基準や補助対象経費は、本事業で確認できたモデル事業を基にして検討する。

(5) 報告書作成

上記(1)から(4)までの実施結果を取りまとめ、報告書を作成すること

4 委託期間

契約締結日から令和6年(2024年)1月19日(金)まで

5 予算上限額 (消費税及び地方消費税相当額を含む)

2,357千円

6 業務上の留意事項

業務内容の詳細については、企画提案の内容を基本とし、道と受託者が協議して決定する。